


言語活動の導入

学習過程

時間	学 習 活 動	支援 () と評価 ()
5	<p>1 あいさつ ・英語でにこやかにあいさつをし、簡単な会話表現に親しむ。</p> <p>2 have toを用いた文型の復習 ・信号機の「赤・黄・青」を用い、have to を使ってその状況を表現する。 You have to wait. You have to be careful. He has to start.</p> 	<p>下松市のALTのMark先生と近況について会話を楽しみながら、本時の学習への関心を高め、だれもが間違いを恐れずに発言したりできる雰囲気をつくる。</p> <p>視覚でとらえたものを英語で表現できるようにする。特に生徒達をとりまく日常生活では、テレビの映像や写真や絵画などにふれることが多く、視覚に訴える授業が生徒達の学習意欲を高めることが多い。その「Visual cue」を授業で活用することを重視する。</p> <p>学期に2回あるリーディングテストを目標にさせ、語句をより正確に読もうとする意欲を高める。</p>
10	<p>3 言語活動1 (聞く、書く・話す) ・have to, has toが用いられた会話を聞き、メモをもとに英文を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>Mark lives alone. He has to cook and clean every-day. He has to iron his clothes. He doesn't have to be quiet. Mr. Matsui plays baseball in America. He has to live in America. He has to speak English every-day. He has to eat vegetables and drink milk. He has to train hard for baseball.</p> </div>	<p>ALT自身のこと、話題の人物のことを取り上げることで、意欲的に活動できるように配慮する。</p> <p>作成した英文と、黒板に貼られた正しい英文を比較し、生徒の基本的文型の理解を助ける。have to, has toを正しく使い分け、正確に英文が書けたか。</p> 